

バク通信

一四九号

令和三年九月十日発行

社会福祉法人「ゼノ」少年牧場

ゆめサポート・バク

福山市神辺町東中条7301-6

TEL(084)960-2256

FAX(084)960-2258

『自治会夏祭り』

生活支援員 柴垣 瑞穂

8月21日(土)に利用者自会の行事として夏祭りを開催しました。このコロナ禍で外出することが難しい中でも三密を避けながら楽しめる内容を役員の方達と考えました。バクシアター・模擬店・カラオケ・豪華なお弁当・かき氷・ビンゴゲームといったもの土曜開所とは違う雰囲気で行事を企画しました。

バクシアターでは「クレヨンしんちゃん」や「ダウンタウンのガキの使いやあらへんで」など利用者さんからリクエストの多かったDVDを上映しました。
模擬店はボーリング・ストラックアウト・射的・輪投げ等、過去の活動や行事で利用者さんの人気があった内容で行いました。それぞれのゲームで高得点を出している利用者さんもいて大いに盛り上がっていました。

カラオケは想像以上の盛況ぶりです。予定時間を延長し午前後に分けての開催となりました。ただ三密を避ける為に、カラオケの部屋へ、一度に入る人数を調整したことで、自慢の歌声を大勢で聴くことが出来なかった点は残念でした…。

ビンゴゲームでは全員に景品を用意して、ビンゴになった人から好きなものを選んでいくというものでした。

リーチにはなるけどビンゴには中々ならなくてモヤモヤする中、一人二人とビンゴが出始めると皆さんの表情もこやかに変わりました。ゲームを終えると、利用者さん達は「これもうったよ」と笑顔で互いに話されていました。
コロナ終息の目途が立たない中でも利用者さん、職員ともに記憶に残る楽しい行事を、今後も考えていきたいと思っています。



▲ビンゴの景品ゲット ▲カラオケ ▲輪投げ ▲射的!よ〜く狙って ▲自治会会長の挨拶でスタート



▲笑顔でピース ▲大盛況!カキ氷 ▲お弁当も美味しそう! ▲ストラックアウト ▲ボーリング

『夏の創作活動』

サービスマネジメント責任者 松岡 肖幸

8月に行った創作活動をご紹介します。

夏と言えば「海」、海と言えば、「カニ」ですかね?

今回は手形をカニに模して、海にいるカニをつくりました。利用者さん一人ひとりの掌に絵具を塗り、用意した用紙に掌を押し付ける!!

日頃なかなか手に絵具を塗ることはないのですが、みんなの表情が緩んだり、強張ったり、顔や腕などに絵具がついて、大騒ぎすることもありました。綺麗に手形を押すことができると周りから拍手が起こり、皆さんとても良い表情をしていました。

出来上がった際も嬉しかったのですが、みんなでワイワイしながら作る工程は何より楽しいひと時となりました。



▲絵具を掌につけてぺったん! ▲手形でカニも素敵ですね!

『ウエスの原料について』

生活支援員 松浦 聡

朝晩が涼しくなり秋らしい過ごしやす季節になってきました。ウエス工場でも気持ちのいい風が工場の中を吹きぬけています。

そんな中ウエスに一つ問題がやってきました。それは、ウエス原料の調達です。

現在仕入れているウエスの原料は、海外で古着が仕分けされ、日本へ輸入されています。しかし、コロナ禍で海外ではロックダウンが行われている影響を受け、原料の仕入れが安定しない時期が続いています。その為、新たな原料仕入れ先を探し、原料の確保に動いておりますが、いまだに安定していません。ウエスを買っていただくお客様のご迷惑にならないよう、また利用者さんの作業が無くなるように現在動いている状況です。

そこで皆様にお願ひがあります。ご自宅に着ていない古着はありませんか?また、処分困っている服がありますか?回収できる原料とできない原料がございますが、一度お声掛けいただければと思います。よろしくお願ひ致します!



▲裁断しているウエスです



▲原料を仕分けしています



▲製品在庫も確保しています



▲検針機も大活躍です

『畑の状況について』

副主任 大村 和弘

まだまだ残暑が続いていますが、体調を崩されたりしていませんか？ファームでは、熱中症にならない為に、午前中は畑作業・午後から室内で掃除等をして過ごしていました。今回は8月の畑の状況をお伝えしたいと思います。

8月は人参を収穫し、保護者の皆様や自然栽培パーティの、「旬を旅する野菜セット企画」に出荷する予定でした。しかし、空梅雨、大雨、猛暑が続く、畑の人参たちは根腐れや小さいサイズであったりと、皆様へお渡しする事が出来ない物ばかりでした。人参をお配り出来なかった皆様、申し訳ありません。

今後の予定ですが、お盆が明けてから、雨が降ったり止んだりを繰り返していた為、畑の中に入ることが出来ませんでした。その為、今から畝を作ってじゃがいもと人参を植えて行きます。野菜が出来た際には、お声をかけさせて頂きますので、ご購入よろしくお願致します。



▲一本づつ袋に入れました



▲小さいけど人参がとれました

『お客様からの声』

生活支援員 柴垣 瑞穂

十人十色のお弁当の配達、回収に行ったときにお客様から嬉しい一言、厳しいお言葉など様々な声を掛けていただいています。その中から一例を紹介させていただきます。配達に伺った時には「ありがとう」当たり前のお言葉だけでなく嬉しいものです。他にも「ご苦労様」「助かってるよ」など、本当にやさしくて温かい言葉を掛けてもらっています。弁当箱を回収に行ったときには「おいしかったよ」「またお願いします」「明日も楽しみ」などありがたい言葉を頂きます。しかし時には「辛かった」「しよっぱすぎる」「油っこい」など厳しい言葉もあります。でもその言葉によって「次はおいしいものを作らなきゃ」と明日への活力にもなっています。

そんなお客様からの声を大切に、利用者さんと共に協力しておいしいお弁当作りを頑張ります。今後も十人十色をよろしくお願致します。



▲日々の製造にも力が入ります



▲お客様からの声が励みになります！



『秋のジェラート』

目標工賃達成指導員 行廣 七海

アルコジャーノでは、秋のジェラートづくりを行っています。秋と言えば食欲の秋、と言われるほど旬を迎える食材が多いですね。キノコ類・ぶどう・柿・銀杏：いろいろな秋の味覚の中から、毎年恒例栗ジェラートの製造を開始しました。栗ジェラートの大きな特徴はジェラートの中に刻んで混ぜ込んである「自家製渋皮煮」です。昨年度は甘い渋皮煮づくりに成功し好評だったため、今年も渋皮煮が美味しくできるように早くから栗探しをしています。渋皮煮の成功の秘訣は栗の大きさにあり、いかに大きな栗と巡り合わせるかがポイントになります。近年は秋を感じる間もなく、冬がやってくるように思います。栗のジェラートを食べて秋を感じては如何でしょうか？

尚、栗ジェラートは9月21日からのお渡しになりますのでご了承ください。



よくお願いします



ご挨拶が遅くなりましたが、5月に入社いたしました廣川真理子（ひろかわまりこ）と申します。大学進学で大阪に出て、結婚後は神奈川で生活していましたが、今年の春に生まれ故郷の福山市に戻ってきました。家では中学生の男の子2人のお母さんです。ここ数カ月は覚える事も多く大変でしたが、バクでの仕事はとても楽しく、毎日笑顔で過ごさせてもらっています。これから少しでも皆さんのお力になれるようがんばりますので、よろしくお願いいたします。

ゆめサポート・バクの取り扱い商品・作業の一部をご紹介します

十人十色の手作り弁当

毎日食べても飽きのこない家庭の味です。旬の食材を使用しています。



1食からお届けします。(配達エリア内に限ります)

480円(税込)

草刈り承ります!

ご相談
お見積り
無料



作業員一人
1時間 1,200円より(税別)

9月の予定

18日(土) 土曜開所

28日(土) 土曜開所



お弁当の注文・作業のお問い合わせは

→ 084-960-2256